

キッズみんなの日記

9月号

花火のところまでつきました。そこで花火のところまでつきたべものを持たへました。

かえりはかきごおりをかかって、すぐくたのしいと思いました。

(小二 Y T君)

寝てしまった理由をしっかりと書いています。松戸について花火を見るまでの間の出来事を順序よく書くことが出来ています。Y君は夏の風物詩を堪能したようですね！

八月一日におまつりがありました

おねえちゃんがいかなかったので、かぞく三人でいきました。

ゆかたをきてまつりに出かけました。はじめのゆかただったので、うれしかったです。



まつりについてから金ぎよすくいをやりました。いびきもつれなくて、金ぎよすくいのおじちゃんが一びきくれました。あとヨーヨーすくいをやりました。一ことれてうれしかったです。ラムネをかって、のみました。おいしかったです。

(小二 KKさん)

夏祭りの様子を詳しく書いていますね！初めて浴衣を着たKちゃんの嬉しそうな姿も目に浮かびます。お祭りの楽しさが伝わってくる文章です。

★自分の思いを伝える★

ハウセンカの花がさいた

ハウセンカの花がさいた。赤色と白とピンクです。全部さきました。とくに一番さいていたのが赤です。いつも朝水をあげていま

す。ハウセンカの花は多くなつてきます。うれしかったです。

(小三 RY君)

日常の一コマを上手に切り取れていますね！花の色を細かく書くことにより、花壇が色鮮やかに染まっていることが想像できる文章ですよ！

楽しかったシンガポール

ぼくはシンガポールにいきました。まずひこうきで七時間ぐらいかかりました。次にホテルにいきました。ホテルはとてもこがかでした。

次の日にバスで

かんこうにいき、へびをまいて

しゃ真をとりました。

へびの体がざらざらして、こわかったです。

午後ナイトサファリにいきました。次に、トレーラーにのりました。いろいろなことをせつめいしてくれました。

帰る日にユニバーサルシンガポールにいきました。いろいろなアトラクションにのりました。いちばん楽しくておもしろかったアトラクションは4Dで見たシニレックと、トランスフォーマーと、長くつをはいたネコのぼう

けんです。

シンガポールはたのしくて、おもしろくてさいこうの国だとおもいました。すごくたのしくて、さいこうでした。

(小三 OF君)

シンガポールでは様々な体験をしたよかです。それを一つ一つ丁寧に書くことが出来ています。「さいこう」という言葉を繰り返すことにより、相当楽しかったのだらうことが読み取れます。

食へ物は大切

私の弟はいつもお母さんが作る食へ物を食べていません。弟は好きな物だけ、好きな時に食へています。なので、弟はいつもお母さんにおこられています。でも私は弟がおこられているのをあまり見たくないので私は弟に食へ物の大切さをおしえてあげました。

戦争があった時のことを話してあげ

ました。戦争が弟は

きらいです。そして、戦争にあった食へ物をおしえると、弟は、「いまのほうがすごい。」

と言って、私がおしえてあげたからつぎの日のこさずに食べてくれました。私と弟は、食へ物の大切さをおぼえました。弟がりっぱになつてほしいと思いました。

(小四 STさん)

Sちゃんとは人として大切なことを知っています。なおかつそれを弟に教えることができる素晴らしいお姉ちゃんですね！これからも弟思いのお姉ちゃんいてくださいね！

ベースデーホームラン

ぼくは今日たんじょう日です。そして野球の試合がありました。

この試合の一打席目、一死ランナー三塁いで

回つてきました。

ぼくは、一ボールノーストライクからの二球目の高めのを打ちました。ボールはレフトの上をこえました。二塁を回ったところで、三塁いコーチャーも手を回していたので、ホームまでつこみました。

そして、その試合でもう打しようでした。ぼくたちが十九対六で勝ちました。

(小四 OS君)



優秀作品紹介

★日常の一コマを生き生きと★

花火

ぼくは、まつどの花火大会へいきました。まつどにつくのがおそいのでバスでねちやいました。

ついであるいてコンビニとかきごおりやさんをみつけました。かきごおりはかえりにかいます。コンビニによって十六茶とビールをかいました。外に出てあるいて花火の音がなりました。上をみると花火がうちあがっていました。おみせがあったからたべものをかいました。

夏休み、そして夏期講習も終わり、いよいよ二学期がはじまります。うだるような暑さもなくなり、過ごしやすいい気候になってきましたね。



さて、この夏、キッズのみんなはどのような過ごし方をしたのでしょうか。海、花火、お祭り、夏の風物詩が日記にたくさん登場しました。そんな中最も多かったのは「映画」です。私も子供の頃夏になると映画を見に行っ

たものです。ただ、見る映画は私の時代とは少々違うと感じました。私の時代は少年誌の表紙を飾るようなアニメがメインだったのに対して、今はディズニーや洋画です。時代の変化を感じる今日この頃です。

映画を題材にする場合は「どのシーンが印象に残ったのか」ということと、「その理由」を書くことにより、より一層素敵な日記になります。皆さんも意識して書いてみましょう。



短文を重ねることにより、緊張感がより一層増しています！読んでいてドキドキしました。これは有名な小説家でも使うテクニックですので、見習いたいですね。

☆☆☆出来事や気持ちをより細やかに伝える☆☆☆

久しぶりのUSJ

私は家族でUSJに行きました。初めはスパイダーマンに乗りました。乗り物は車のような形で三列あって十二人乗りでした。私の家族は二列目に乗りました。ほのおで熱くなったり水がかかってきたり、敵のボールが本物でかべにあたってあながいりたりなどで、とてもスリルまんてんでおもしろかったです。

つぎはハリーポッターです。まず乗り物に乗る前に動く絵を見ただけでこうふんしてしまいました。でも乗り物はもつとすごかったです。ハリーたちとクディッチの試合をしているみたいだったし、ヴォルデモードの人形みたいなのが本場に似すぎていて少しこわかったです。でも、ハリーポッターの世界に迷い込んだみたいでとてもゆめのよな時間でした。

(小五 SYさん)

「ゆめのような時間」という表現がその楽しさを物語っていますね！また、アトラクションの説明も詳しく、USJに行った気になりますね！素敵な文章になっていますよ。

家族でえいがをみた

今日の朝九時から始まるジュラシックパークの新しいえいがをみた。

えいがが始まった。二時間三十分くらいの長いえいがで、3Dで見た



ので少し目がつかれました。

感想は、3Dで見たのできよりゆうなどがすごくとびでてくるようで、びつくりするシーンもありました。前作よりかなりおもしろかったです。

(小五 KS君)

ジュラシックワールドの最新作は前作以上に面白という話は私も耳にしましたが、やっぱりそれは本当だったので、感想をしっかりと書くことが出来ていますよ。

さんねんな日

私は七月三十一日に松戸駅の近くにある献血ルームへお母さんと行ききました。



献血ルームに行った理由は学校の社会科見学でお母さんが実験だいとなってやりました。

まず献血する前に機械の面に書いてある質問を「はいかいいえ」で答えました。

その後、飲み物を飲むんですが、お金を入れるところがなくて、さがしていたら飲み物は無料で飲める場所だったので献血しない私にとってはすごくラッキーでした。

飲み終わった後は、献血をする献血室みたいな所です。献血をする前に名前を呼ばれて問診と血圧測定を行いました。その後、血色素の測定と血液型事前判定をやったんです。なので、献血の本(資料)をもらいました。そしたらそこにくわしいことが「ずらー」と書いてありました。

さんねんだったけど資料がもらえてよかったです。

(小六 Nーさん)

場所の説明や献血の様子が詳しく書いていますね。献血に関する語句も正確に書けています。その場の状況を詳しく書く、文章は膨らみますので、皆さんも見習って下さいね！

宿題



ぼくは、この日のうちに読書感想文を終わらせると決めていました。なので最終日の今日はとても気合いを入れなければいけないのですが、なぜかやる気でないのです。なぜでしょう。それを考えてみると理由がわかったのです。それは今、考えていたようなむだなことを考えてばかりいたからだったのです。

(小六 TK君)

日常の中の自分の気持ちを上手に表現しています。おもしろい「なるほど」と言ってしまうような文章ですね。「くか」という表現もいいですね！

水泳大会

私は、学校の水泳部に入っています。その中で私は、水泳の選手に選ばれました。私が出る競技はフリーという競技です。まず、フリーリレーというのはクロールの五十メートルを交替して四人で泳ぐ競技です。



私は、三番目に泳ぎました。結果は四位、五位くらいでした。総合優勝は出来なかったけれどがんばりました。これらの経験をいかしてまた、このきかいがあったら総合優勝をとってがんばりたいです。

(小六 YSさん)

経験したことをこれからは活かすという結び方は文章を書く上で非常に有効な方法です。これは見習いたいテクニックですので、みなさんも真似してみてください。

映画を見に行った

夏休みが始まり、さっそく映画館にお母さんと出かけました。ディズニー映画のインサイドヘッドを見に行きました。内容は明るいものだとずっと思っていきましたが、とても泣けるお話で、けっこう泣いてしまいました。



最初に短編ストーリーが映されて、それが長いし、火山の話できょうみがなく、つまらないなと思っていたら、インサイドヘッドが始まったしゅんかんおもしろくなりました。特にピンポンというキャラクターが出てきたところがおもしろかったです。最初はずっど笑っていましたが、そのピンポンというキャラクターが死んでしまい、その理由がとても悲しく、そこで泣いてしまいました。ふだんはあまり泣いたりしないので、すごくすっきりしました。

(小六 Kーさん)

泣いてしまった理由や泣いたあとの気持ちを丁寧に表現していますね。また、映画を見るまでの様子についてもしっかりと触れることが出ています。「すっきりした」という表現も味があっていいですね。

「キッズみんなの日記」に関するご意見・ご感想は、info@kohndai.comまたは、編集担当▼藤田 n-fujita@kohndai.com まで、Eメールでお寄せください。皆様の「ご意見を参考に」、より良い紙面作りに努めて参ります。